

# 市報

# 千曲

No.169  
2017年  
(平成29年)  
10月号



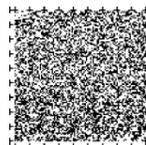
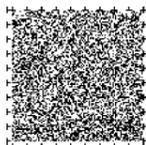
循環バス  
あなたは乗っていますか

## 今月の表紙

バスに乗っているのは、西澤詩織さん、香好美さん、真奈美さんの3姉妹。学校や遊び、アルバイトに行くときは、循環バスを利用しています。停留所で「今日の運転手さんは誰か」を予想している様子は、正に循環バス常連客の姿でした。

## 今月の主な紙面

【特集】循環バスを考える	…… 2～9
平成28年度決算	……10～15
県史跡「松田家館跡」で火災	……16
平成29年度市長表彰受賞者の紹介	……17



## 地域住民の足

# 循環バスを考える

今では当たり前にある電車・バスなどの公共交通。市内を走る循環バスは、主に高齢者や学生が利用しており、地域の足としてなくてはならない交通手段です。しかし、循環バスの利用者は年々減少する一方で市の負担は増えてきています。

今月の特集では、循環バスの現状と課題など、現在利用している人も利用していない人も一緒に、循環バスの将来について考えます。

### 循環バスとは

市の循環バスは、市民の皆さんの生活の足として、市内の住宅地や公共施設を回るバスのことで、世間一般にはコミュニティバスと呼ばれています。中山間地域でバス路線がなかったり、民間路線バスが廃線となったりした地域に自治体が行政サービスとして運行している例が多く、市内の住民に限らず、市外の人も利用しています。

循環バスの特徴は、行政が運営主体のため、民間の路線バスの運行を開始しました。平成11(1999)年には、誰でも利用しやすいようにと市内全域をカバーし、4路線1日32便を運行する循環バスがスタートしました。

旧戸倉町では、平成8(1996)年に公共施設と遠隔地を結ぶ福祉バスの運行を開始しました。当初、2路線1日4便でしたが、平成12(2000)年には1日10便に増やし、巡回バスとしてスタートしました。

旧上山田町では、昭和55(1980)年に、高齢者のために「つるの湯行バス」を週2回運行したのが始まりで、平成13(2001)年には誰でも利用できる循環バスを1路線1日12便でスタートしました。



▲国道18号線を走る民間の路線バス(昭和40年代・戸倉連絡所)



▲「屋代駅～上山田線」廃止の危機を伝える市報こうしよく(平成6年1月号)



▲平成16年に循環バス「大循環線」が運行開始

とは違い、住民の声を反映してきめ細かく停車する場所や時間が決められていることです。まさに、地域に密着したバスであり、地域の足として高齢者や障がい者、学生にとって、なくてはならない交通手段となっています。

### 循環バスの歴史

合併前の旧市町るときから、循環バスはそれぞれの地域で走っていました。

旧更埴市では、昭和52(1977)年に各地区と老人福祉センターを結ぶ福祉バス

いずれも平成6(1994)年に、旧市町を運行していた民間のバス会社が、採算が取れないことを理由に路線バスを廃止したことから、旧市町がそれを補うかたちで「福祉バス」からスタートし、誰でも利用しやすいようにと「循環(巡回)バス」の運行を開始しています。

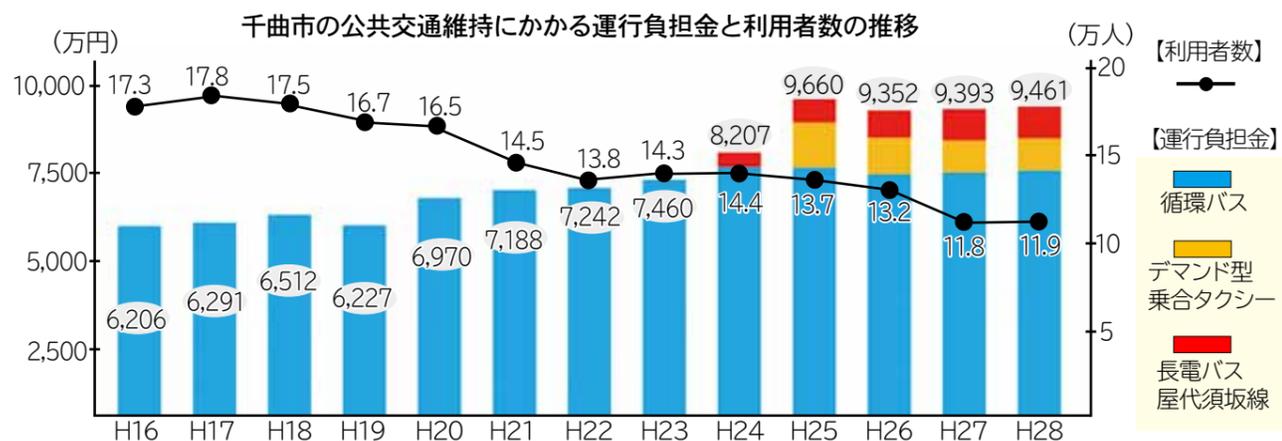
平成15(2003)年には、旧市町の合併により千曲市が誕生したことから、循環バスも旧市町の枠を超えた路線を新設し、9路線1日76便が運行されるようになりました。

### 減る利用者・増える負担

市内を走るバスは現在、9路線1日64便を運行する循環バスと、平成24(2012)年に廃止された長野電鉄旧屋代線

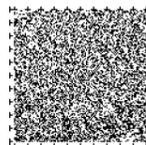
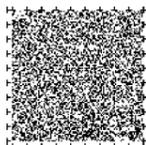
の代替バスがあります。また、平成25(2013)年には雨宮土口、生萱、倉科、森、屋代の一部を走るデマンド型乗合タクシーの運行を開始しています。

循環バスとデマンド型乗合タクシーの利用者は、少子化による学生の減少を主な原因として、平成17年の17・8万人をピークに減少を続け、10年後の平成27年には約3割減の11・8万人となっています。また、これらの維持にかかる運行負担金も利用者の減少などを主な理由として年々増え続け、平成16年と比べると平成28年は約5割増の約9461万円まで増えています。今後、老朽化による車体の更新など負担はますます大きくなっていくことが予想されます。



\*長電バス屋代須坂線の利用者数は含まれていません





▲屋代南高校の生徒も通学などで利用しています



▲8月24日、大循環線(西回り) 5便には、10人が乗車し、学校や病院、職場の帰りに利用していました



**大循環線「ちくま号」に乗って**職場から自宅に帰る40代女性(八幡)は、ペーパードライバリーのため毎日の通勤には欠かせないと言います。

夏休みが終わり、この日から学校が始まったという屋代南高校3年生の小林昭歩さん(17歳・戸倉)と千野優希さん(17歳・若宮)は、週数回、帰りにバスを利用することと、電車よりもバスは30円安く、自宅近くまで来てくれるので「雨や雪の日はとても便利」と話してくれました。

**循環バスがなくなるのではないかな不安**

この日、話を聞いたバス利用者の皆さんの多くは、自動車運転免許を持っていませんでした。皆さんからは「便数を増やしてほしい」「日曜・夜間も運行してほしい」とサービスの充実を希望する一方で「循環バスがなくなってしまうと困る」という不安の声も聞かれました。一人暮らしの70代女性(稲荷山)は「利用者が増えなければ、もっと使いづらくなるのでは」と今後のサービスの低下を心配していました。

**会話・笑顔が生まれるコミュニケーションバス**

今年の8月24日は、日中の気温が32度と蒸し暑い晴れた日でした。同日午前中、上山田庁舎から戸倉駅行きの上山田線「ほっとバス」に乗ると、既に4人の乗客がいました。

61歳男性(新山)は「今日は本を借りにいきます」と話してくれました。図書館以外にも食材の買い物によくバスを利用しているそうです。

これから「つるの湯」に行くという60代女性(新山)に話を聞いていると、先ほどの男性が女性が押し忘れた降車ボタンを押してくれました。聞く



▲上山田線4便では5人の乗客が温泉、病院、買い物に利用していました。

と、二人は近所の知り合いで、お互いの行き先が分かっていたとのことでした。バスを降りる際は、笑顔で「気をつけて行って来いよ」「ありがとう」の会話が聞かれました。ほかに「普段は歩いてい

きますが、今日は暑かったから」と病院に行く70代女性や、戸倉のスーパーに買い物に行く80代女性が乗車していました。

**バスは大切な選択肢の一つ**

同日の夕方午後4時過ぎ、屋代駅のバス停留所には、4人がバスを待っていました。

80代女性(稲荷山)は、大田原線「やまぶき号」に乗って市外の病院から自宅へ帰るところでした。普段は「竹林の湯」に行くため、友人と週2回程度利用しているそうです。タクシーに乗る選択肢もあるようですが「週に何回も使えない」と話してくれました。

# 車がなくても移動できる安心 バスがなくなってしまう不安

自動車運転免許を持たない若者にとって、バスは移動手段の一つとして大きな選択肢となります。また車を運転できない高齢者にとっては、家族や周りの人の手を借りずに移動できる交通手段であり、車がなくてもバスがあれば安心して生活が送れます。しかしバスの利用者からは、バスがなくなってしまうのではないかと不安の声が聞こえてきました。

## 循環バスを運転して14年目の運転手さん



有限会社信州観光バス  
乗合部長 岡村 誠さん  
(56歳・八幡)

安全運転はもちろんですが、お客様には気持ちよく利用してもらうことを心がけています。特に乗り降りするとき、あいさつや一声かけるようにしています。

高齢者のお客様が多いバスの中では「今日はあの人はどうした」「あのおばあちゃんは足が良くないからドアに近い席を譲ってあげよう」など、相手の体を気遣った会話が聞こえてきます。「あのバスに乗れば、みんなに会える」と楽しみにしているお客様も多いと思います。

最近では、運転免許証を返したということでバスに乗られる方もいましたが、新たにバスを利用する人は減っていると実感しています。

## 循環バスを利用する学生さん



西澤 詩織さん  
(18歳・羽尾)

最近、車の免許を取得したので、バスに乗る機会は減りましたが、小さいときから頻りにバスを利用しています。妹2人も中学生のときから高校生になった今でも通学で利用しています。私たち姉妹にとってバスは生活の一部です。

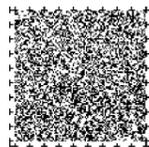
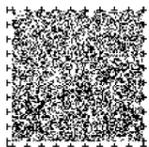
## つるの湯に週2回訪れるおばあちゃん



竹内 いつ子さん  
(94歳・寂蒔)

スーパーや病院は自宅の近くにあるのでシニアカーで行けますが、温泉に行くにはバスは欠かせません。循環バスは大循環線が運行を始めたときから乗っています。

運転手さんはいつも親切で助かっています。



# 循環バスで 目的地に行ってみよう ～循環バスの旅～

皆さんは循環バスの乗り方を知っていますか？ここでは、循環バスの楽しみ方を「あん姫」と一緒に紹介します。

## スタート



ちょっと早めにバス停で待機  
停車時刻の少し前に到着する  
ようにしましょう

## 姨捨駅バス停着 11:33



バスが止まったら席を立ち、料金箱にお金を入れて降車

## 戸倉駅バス停発 11:11



どのバスも、乗り口は1つです。料金は定額、後払いなので整理券はありません



降りるバス停の手前で降車ボタンを押します

## 徒歩

次の目的地である姨捨観光会館にも停車しますが、散策のため姨捨駅で下車

## 姨捨の棚田



国の重要文化的景観に指定されています。季節によってさまざまな景色が楽しめます

## 長楽寺



境内には松尾芭蕉の句碑などがあり、秋には色鮮やかな紅葉を堪能できます

## 姨捨観光会館

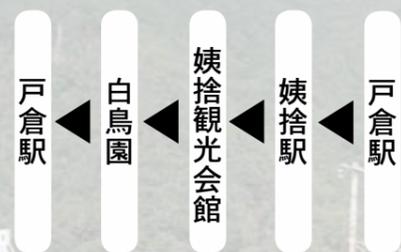


お昼休憩。そば、うどん、おやきのほか地酒もあります



手打ちそば

## 今回の行き先



## 乗ったバスはこちら



かむりき号  
(おばすて棚田・温泉連絡便)  
このバスは4月1日から11月26日の土日・祝日のみの運行です

## 案内人はこちら

千曲市キャラクター 市生活安全課  
あん姫 湯本一稀 主事

## 白鳥園バス停着 14:31



最終目的地の白鳥園に到着。温泉に入って旅の疲れを癒します

## 姨捨観光会館バス停発 13:58



このバスを逃すと次は1時間半後になってしまいます

## 白鳥園おすすめ



温泉のあとはジェラートを堪能



おすすめの味は「丸山珈琲」と「おぶせ牛乳」

## 白鳥園バス停発 15:54



循環バスの旅も残りわずか

## 戸倉駅バス停着 16:02



今回、3回乗り降りしたので、通常だと大人600円。1日乗車券だと500円なのでお得です

## 乗る前にダイヤを確認！



▲毎年4月に配布される総合交通マップ・時刻表

事前に自宅と目的地付近のバス停の位置と、乗車する路線のダイヤを確認(土日・祝日、冬期間の運休に注意)

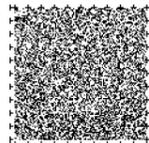
## 運賃はいくら？

区分	料金
大人	200円
65歳以上の市民	100円
小・中学生	100円
小学生未満	無料

1日乗車券	500円(大人)
	300円(割引料金適用者)

\*65歳以上の市民が料金の割引を受けるには、割引乗車券が必要です(各庁舎福祉課にて受付)



## 循環バスに関する取組みを紹介

### 運転免許証自主返納を支援



運転免許証を自主返納した65歳以上の市民に、循環バスなどの共通無料回数券3,600円分を交付します

### 千曲市公共交通会議



循環バスなどの地域の公共交通について協議・調整を行ないます。平成30年度には、将来の公共交通のあり方の指針となる「千曲市公共交通網形成計画」を策定する予定です

### 地元小学生が車内アナウンス



市内9校の小学生が、降車する停留所などの車内アナウンスをしています



### デマンド型乗合タクシー

市では、東部線エリアの一部でデマンド型乗合タクシー「めぐりきり号」を運行しています。循環バスが運行していない公共交通空白地域の解消を目的に、平成25年から運行しています。予約のあったときだけ運行するので無駄がなく効率的です。

#### ■利用料金

大人400円  
小・中・高校生200円

#### ■運行日

月曜日～金曜日(土日・祝日、12/29～1/3は連休)  
8:30～16:00まで7便の運行

#### ■利用方法

- ①利用者登録をする  
\*登録無料
- ②利用者登録証が届く
- ③電話で利用予約
- ④予約時間に指定の停留所で待つ



信州ナビ  
(観光・交通案内アプリ)

ダウンロード無料  
目的地までのルート簡単アクセス

県では、今年4月から県内のバス・鉄道などの交通機関の乗換えやルート案内してくれる無料のアプリケーション「信州ナビ」の運用を開始しました。ほかにも県内の観光施設やイベント情報を紹介しています。

アプリは下記の二次元コードから入手できます

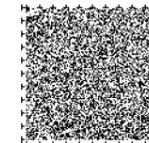
iOS版  
\* iOS9.0以降対応



Android版  
\* Android4.4以降対応



**自分の将来を考える**  
バスを使わなくても済む人は「私は自動車を持っていないし、バスはなくなってもいい」と思ってしまうがちです。しかし、想像してみてください。将来自分が年をとって、病院に行きたいのに車を運転できず、送迎してくれる家族も近くにいない場合、どうしたらよいのでしょうか。  
循環バスの将来を考えることは、自分の将来を考えることでもあります。今は当たり前のようにある循環バスですが、利用者がさらに減少し、市の負担が大きくなると、今後「乗って残すのか」「乗らずに廃止にするのか」を判断しなければいけないときが来るかもしれません。  
まずは一度乗ってみませんか。いつもと違った人や物、風景に出会えるかもしれませんし、これまで思いつかなかった活用方法がみえてくるかもしれません。



## インタビュー interview

### 公共交通は自分たちで 守って育てていく意識が必要



#### 柳沢 吉保さん

長野工業高等専門学校 教授

専攻は都市交通計画。県の地域交通ベストミックス構築事業の交通アドバイザーとして、千曲市の地域交通に関して指導・助言をいただいている。

#### 利用者減 サービス低下の悪循環

住民の移動手段を確保しようとして、自治体が費用負担して交通空白地域にコミュニティバスを導入する例は多いですが、もともと民間の交通事業者が撤退したところからバスを走らせるわけですから、民間事業者と同等のサービスを提供しても、利用者数を維持することは非常に難しいのが現状です。利用者が減少に転じたために、便数を減らすなど費用を圧縮します。利用者からするとサービスの低下によって余計に

バスを使わなくなり、負担がまた増えるという悪循環に陥ります。全国で利用者数を維持している事例では、利用頻度の高い施設沿線の利用実態を把握したうえで、まちの活性化に貢献できるルートやダイヤを決め、適正な運賃の設定をしています。自治体が主体になるとどうしても公平性の観点から、いろいろな人に使ってもらうと考えると、一つの便で多くの地区を網羅したり、地区内を必要以上にこまめに巡るルート設定するため、目的地まで行くのに時間がかかってしまったり、乗りたい時刻にバスが来ないなど、逆に使わなくなると

#### 公共交通をまっすぐいへせつて考える

人口が増加していた時代は、市街地が拡大していきます。しかし人口減少に転じると、市街地周辺に立地していた商業施設などの生活に必要な施設が撤退し、居住地だけが残ります。そこに住む人たちが自動車などの自由に移動できる手段を保有し、それを運転できれば問題ありませんが、その人たちもやがて運転できなくなります。

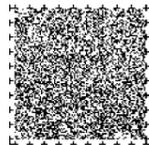
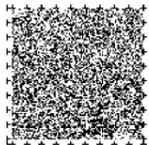
家族による送迎は、家族にも仕事などがあり、すべて対応できるわけではないので、行きたいときに行きたい病院や商店に行きません。外出する機会も減りません。最小限の生活環境も享受できなくなってしまう。これからはますます生活に必要な施設の立地、居住場所、それらと繋げる移動手段を考慮する必要がある。

#### 地域住民の役割

これからの公共交通は、利用する側も提供してもらうという認識ではなく、自分たちで守って育てていく意識が必要です。

行政は、与えるだけでなく、利用者の一日の行動のうち、公共交通をどのような目的で、どのように利用しているかを調べ、投入できる移動手段の数とダイヤなどから、充てることのできる運行コストなどを住民にフィードバックします。

それを受けて地域では、限られた予算の中で、本当に必要なサービスとは何かを考え、意思表示をしてほしいのです。そうすることによって限られた予算のなかでも、より利用者に寄り添ったバスになると思います。このように移動手段を育てることによって、自分たちのバスとして守っていく意識が芽生えると思います。関係する皆さんで「バスがなくなると将来、大丈夫なのか」を今、真剣に考えてみましょう。



街路整備事業費

4,627万4千円



旧国道線整備事業の屋代駅前交差点から小島団地入口付近までが完了し、道路拡張などインフラ整備を進めました。

中学校改築事業費

22億1,882万7千円



戸倉上山田中学校の改築事業、更埴西中学校屋内運動場改築事業を行ないました。更埴西中学校屋内運動場は完成し、戸倉上山田中学校は来年度完成に向け事業を進めていきます。

- シティプロモーション推進事業費 9,794万3千円
- 新幹線対策事業費 1,024万7千円
- 保育所管理運営事業費 3億6,546万3千円
- 生活保護費 4億5,035万3千円
- ごみ減量・資源化事業費 8,536万2千円
- 団体営土地改良事業費 5,104万円
- 松くい虫防除対策事業費 4,102万8千円
- 企業立地推進事業費 1,627万2千円
- 商工業振興対策事業費 1億1,305万1千円
- 市道維持補修事業費 1億6,863万1千円
- 市道新設改良事業費 5億942万4千円
- 体育施設管理事業費 9,267万5千円

観光総務費

1,552万円



千曲市版 DMO 一般社団法人信州千曲観光局設立準備を行ない、平成29年4月1日からスタートしました。

消防施設管理事業費

5,309万2千円



消防団用の可搬ポンプ、積載車、ポンプ自動車を購入し、装備の充実を図りました。

高齢者健康寿命延伸推進事業費

226万5千円



高齢者の熱中症による健康被害を未然に防ぐため、高齢者独居世帯に配布する熱中症計を購入しました。

食料農業農村対策事業費

2,439万円

食料農業農村基本計画推進事業補助金のメニューに、ワインブドウ栽培促進事業補助金を新規追加しました。

協働のまちづくり推進事業費

1,039万円



あん姫のうた制作負担金など千曲市協働事業提案制度で採択された、7事業の実施に要する経費の一部などを負担しました。

新庁舎等建設事業費

9億9,458万5千円



更埴老人福祉センターと勤労青少年ホームの解体工事を実施し、庁舎・体育館などの設計及び工事に着手しました。

# 平成28年度 決算

平成28年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算が市議会で認定されました。市では毎年予算の執行状況や皆さんに納めていただいた税金が、どのように使われているのかをお知らせしています。

■問い合わせ先 更埴庁舎・財政課(内線5231)



## 平成28年度の主な取組み

運輸通信対策一般経費

1億2,950万5千円



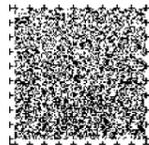
しなの鉄道が事業主体となり屋代駅にエレベーターなどを設置し、車イス利用者や高齢者に対し、利便性・安全性の向上を図りました。

コンビニ証明書交付事業費

1,604万円



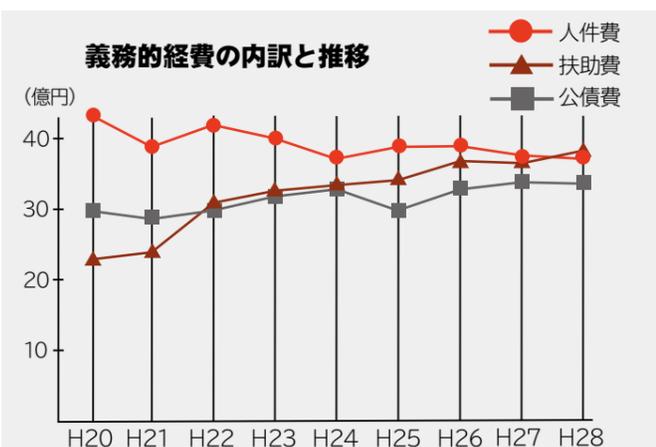
コンビニエンスストアにおける住民票の写しなどの証明書交付にかかるシステム構築などを実施し、1月から交付できるようになりました。



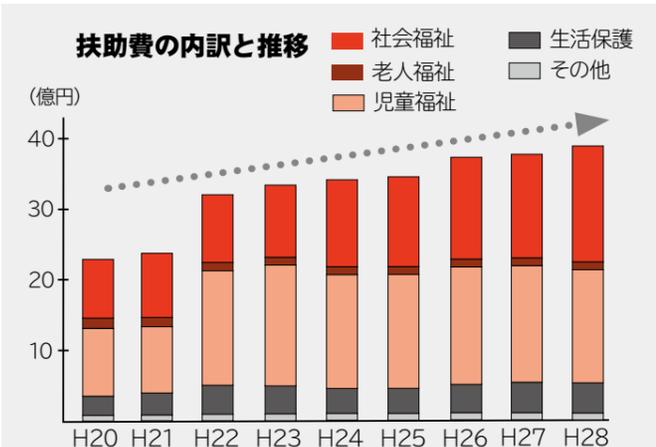
# 平成28年度決算状況

## 義務的経費の状況

職員などの人件費、福祉サービスなどの扶助費、市が借りたお金を返済する公債費は、毎年の支出が義務づけられており、固定的な経費としての性格が強く「義務的経費」と分類されます。義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい行政サービスの実施などが難しくなります。



それぞれの経費の推移を見ると人件費は減少傾向、扶助費は増加傾向、公債費は増加傾向にあり、義務的経費全体は増加傾向にあります。



扶助費の推移を見てみると、社会福祉費が平成20年度比約2.0倍、児童福祉費が約1.7倍になるなど大幅な増加傾向にあり、義務的経費の割合を高める一因となっています。

## 性質別で見ると

義務的経費	<b>人件費</b> 37億897万5千円 職員などに支給される給与、退職手当などの経費	14.0%
	<b>扶助費</b> 38億6,237万円 生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助する経費	14.6%
	<b>公債費</b> 34億1,486万1千円 大きな事業をするために市が借りたお金(市債)の返済金	12.9%
投資的経費	<b>普通建設事業費</b> 53億956万8千円 道路や学校など公共施設などの建設や改良に要する経費	20.0%
その他	<b>102億1,645万1千円</b> 38.5% 物件費 人件費、扶助費、補助費などに含まれない消費的な経費など 維持補修費 補助費 主には個人や団体に対する補助金など 繰出金 積立金 など	

## 歳出

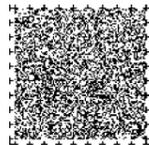
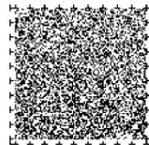
265億  
1,222万5千円

## 一般会計

## 歳入

275億  
3,986万4千円

民生費	78億9,946万7千円	29.8%	老人福祉施設等整備事業補助金、年金生活者等支援臨時福祉給付金の増加などにより、3億5,670万4千円増加。
教育費	44億2,772万2千円	16.7%	学校教育、社会教育の充実に使ったお金
総務費	35億8,263万2千円	13.5%	前年度に第1学校給食センター改築事業が終了したことなどにより、2億3,102万8千円減少
公債費	34億1,486万1千円	12.9%	大きな事業をするために市が借りたお金(市債)の返済金
土木費	27億7,409万4千円	10.5%	道路や橋梁、公園などの整備に使ったお金
その他	44億1,344万9千円	16.6%	各種産業の振興や、ごみ処理など
市税	76億4,721万3千円	27.8%	市民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、入湯税、都市計画税
地方交付税	74億8,367万円	27.2%	市の人口や税収などに応じて国から配分されるお金
国庫・県支出金	45億7,625万4千円	16.6%	国庫が必要だと認めた事業に対して配分されるお金
市債	28億253万9千円	10.2%	大きな事業をするために市が借りたお金
諸収入	14億1,334万4千円	5.1%	受託事業収入などほかの収入科目に含まれない収入をまとめたお金
その他	36億1,684万4千円	13.1%	繰入金、財産収入、寄付金など



## 数字でみる千曲市の財政状況

### 基金の残高

**134億6,527万4千円**

財政調整基金は、8,390万2千円の取り崩しを行なったものの、決算剰余金3億7,000万円を積み立てたことなどにより41億5,519万4千円となり、前年度に比べ7.5%増加しました。また、財政調整基金、減債基金、特定目的基金をあわせた積立基金の残高は127億1,129万1千円となりましたが、特定目的基金を一部取り崩したため、前年度に比べ0.4%減少しました。

会計	平成28年度末
一般会計	134億6,527万4千円
(内訳) 財政調整基金	41億5,519万4千円
減債基金	4億2,787万2千円
その他特定目的基金	81億2,822万5千円
土地開発基金	6億4,972万5千円
その他定額運用基金	1億425万8千円
国民健康保険特別会計	4,017万4千円
介護保険特別会計	6億6,900万2千円
合計	141億7,445万円

### 経常収支比率

**90.3%** 前年対比 **悪化**  
+1.9%

県内19市の平均 **88.9%**  
千曲市の順位(良い方から) **13位** (前年13位)

経常収支比率とは、扶助費などの経常的な支出に、市税など経常的な一般財源が充てられた割合です。比率が低ければ自由に使えるお金が多いことを示しています。

#### 千曲市の状況は？

地方交付税、臨時財政対策債発行可能額など経常一般財源の減少により、前年度と比べて1.9%の上昇になりました。

### 財政力指数

**0.524** 前年対比 **悪化**  
-0.007

県内19市の平均 **0.569**  
千曲市の順位(良い方から) **13位** (前年12位)

財政力指数とは、市が標準的な行政サービスを行なった場合、どこまで必要経費が賄えるかを示す指標です。数値が高い(1に近い)ほど自主性と安定性が確保されます。

#### 千曲市の状況は？

千曲市は自主財源が少なく、地方交付税に頼る割合が高いことを示しています。

### 市債の残高

**272億9,248万1千円**

一般会計では、臨時財政対策債などの償還額が増えた一方、平成28年度末の市債残高は、普通会計で前年度比1.5%減の272億9,675万8千円となりました。

会計	平成28年度末
一般会計	272億9,248万1千円
同和对策住宅新築資金等貸付事業	427万7千円
普通会計 合計	272億9,675万8千円
下水道事業	296億191万7千円
西部水道事業	5億8,156万8千円
合計	574億8,024万3千円

年度	年度末残高(全会計合計)
19	597億2,443万5千円
20	595億7,008万円
21	600億2,656万8千円
22	603億8,025万1千円
23	601億3,741万2千円
24	602億4,841万2千円
25	602億8,369万5千円
26	593億2,744万8千円
27	589億87万5千円
28	574億8,024万3千円

### 実質公債費比率

**7.1%** 前年対比 **悪化**  
+0.1%

県内19市の平均 **7.5%**  
千曲市の順位(良い方から) **7位** (前年6位)

実質公債費比率とは、市の標準財政規模に対する地方債の元利償還金の割合を示しています。25%を超えると財政健全化計画を策定して早期財政健全化を図らなければなりません。

#### 千曲市の状況は？

普通交付税交付額と臨時財政対策債発行可能額の合計が減少したことにより、標準財政規模が縮小し、前年度と比べて0.1%の上昇となりました。

### 将来負担比率

**20.1%** 前年対比 **悪化**  
+1.1%

千曲市の順位(良い方から) **6位** (前年5位)

将来負担比率とは、普通会計、公営企業会計、一部事務組合の借金返済額など、将来負担すべき負担額の標準財政規模に対する割合です。高いほど財政が圧迫されていることを示しています。

#### 千曲市の状況は？

標準財政規模が縮小したこと、また地方債現在高の内、算入率の高い合併特例債の残高が大きく減少したため、前年度と比べて1.1%の上昇となりました。

## 今後の見通し

今後、歳入面では、人口減少や土地価格の下落などにより、市税収入などについては大幅な増加は期待できません。また、地方交付税も合併算定替の特例期間が平成30年度に終了するため、一般財源(市が自由に使えるお金)の確保が非常に厳しくなることが予想されます。

歳出面については、新庁舎等建設事業や戸倉上山田中学校改築事業などの大型ハード事業を実施中のため、今後、市債の償還費や少子高齢化の進行にともなう扶助費などが増加していく見込みです。

このような状況で、健全な財政運営を維持していくことは容易ではありませんが、少子高齢化、人口減少に即した公共施設の統廃合や事業の縮小、廃止を行なうことにより歳出を削減していきます。

\*市財政の詳細は、市ホームページでも確認できます。

\*県内19市の平均値については、速報値に基づいて算出しています。

\*財政の健全化を図る指標の実質赤字比率、連結実質赤字比率はいずれも赤字ではありませんでした。

## 特別会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	70億818万円	69億756万8千円
後期高齢者医療	7億1,564万円	7億227万円
同和对策住宅新築資金等貸付事業	1,038万1千円	91万8千円
介護保険	50億393万円	48億3,838万5千円

## 企業会計

会計	総収益	総費用	総純益
下水道事業	29億5,319万8千円	25億2,211万4千円	4億3,108万4千円
西部水道事業	1億7,146万9千円	1億5,832万5千円	1,314万4千円

# 千曲市長表彰 受賞者の紹介

## 県史跡「松田家館跡」で火災 松田家住宅主屋・齋館など7棟全焼



▲焼失した齋館(写真手前)と主屋(写真奥) 9月7日撮影

■問い合わせ先 歴史文化財センター(TEL026-1261-3210)

9月6日午後6時20分頃、八幡にある長野県史跡「武水別神社神主松田家館跡」で火災が発生しました。火は出火元の主屋から燃え広がり、齋館、新座敷、料理の間など計7棟が全焼しました。

主屋と齋館の建物内には、過去の官司が使っていたタンスや戸棚などの家具、衣装類、仲秋祭で使う提灯などがありました。また、貴重な古文書類は、敷地内に新築した鉄筋コンクリート製の収蔵庫に保管しており無事でした。

千曲坂城消防本部、市消防団などが消火活動にあたり、火は約4時間後の午後10時25分に消し止められました。

市では、平成16年に武水別神社宮司の松田孝弘さんから、松田家住宅主屋のほか11棟を寄贈していただいたことから、建物や1万点以上の古

文書などの保存・活用を図るため松田家資料等保存整備計画を策定し、平成17年度から整備事業に着手しました。これまでに建物をはじめ、土塁・堀の整備などを完了させ、平成30年度には一般公開

をする予定でした。火災という事態を受け、これまでの整備に要した補助金や市債の取扱いについては、現在国・県と協議を進めています。また、今後の再建を含めた方針などについても、関係機関と相談を進めていきます。



- 全焼**
- 松田家齋館(長野県宝)
  - 松田家住宅主屋(長野県宝)
  - 新座敷(市指定有形文化財)
  - 料理の間(市指定有形文化財)
  - 味噌蔵(市指定有形文化財)
  - 外便所(市指定有形文化財)
  - 松田家齋館増築棟

市長表彰式典が、市制施行記念日にあたる9月1日(金)に更埴文化会館で行なわれ、教育振興・統計調査・観光振興・社会福祉・保健衛生・スポーツの各分野に功績のあった9人と1団体の皆さんが表彰を受けました。

### 教育振興功労



吉川 弘義 さん  
(屋代)

教育長や教育委員長を歴任され、教育分野で多大な功績があり、教育行政振興に尽力。

### 統計調査功労



中沢 佐代子 さん  
(寂蒔)

多年にわたり統計調査員として、地方自治の振興に尽力。

### 観光振興功労



村山 義治 さん  
(屋代)

牛に引かれて善光寺詣りへの協力により観光振興と千曲市の知名度向上に尽力。

### 社会福祉功労



大島 剛 さん  
(上山田温泉)

千曲市民生児童委員協議会長を務められるなど、多年にわたり社会福祉の向上に尽力。

### 統計調査功労



嶋田 恵美子 さん  
(屋代)

多年にわたり統計調査員として、地方自治の振興に尽力。

### 保健衛生功労



安里 進 さん  
(若宮)

戸倉上山田中学校、更級小学校、五加小学校校医を務められ、生徒・児童の健康増進に尽力。

### 保健衛生功労



柳澤 孝彦 さん  
(稲荷山)

更埴西中学校歯科医を務められ、生徒の健康増進に尽力。

### 社会福祉功労



北村 俊治 さん  
(土口)

更埴地区保護司会副会長を務められるなど、多年にわたり社会福祉の向上に尽力。

### スポーツ功労



和田 彩未 さん  
(内川)

2015年、2016年の2年連続で、シンクロロナイズドスイミングの国際大会で優勝され、市民に勇気と希望を与えた。

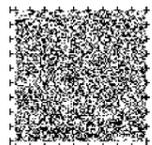
\*和田さんの関連記事は本紙39ページに掲載

### 教育振興功労



ちくまおはなしネットワーク

市内の保育園、幼稚園、小学校などでの読み聞かせ活動により、子どもたちの読書活動の推進に尽力。



10月1日から  
スタート

# 障がいのある皆さんなどの相談窓口 基幹相談支援センターを開設

障がいのある皆さんなどが、安心して生活が送れるように、自立して自分らしく生きていけるように、障がいに関する悩みごとや困りごと、心配ごとなどについての相談を受け付けています。

■問い合わせ先 戸倉庁舎・福祉課(内線6260)

## 役割1

### 障がいのある皆さんなど\*の相談窓口

障がいのある皆さんなどの生活上の困りごと、心配ごとなどの相談に応じ、その人が住みなれた地域で生活を送れるように、関係各所と連携を図り、さまざまな支援の輪を組み合わせながら、悩みごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

電話や来所などで相談を受け付けています。相談内容は秘密厳守ですので、気軽に相談してください。

\*障害者総合支援法第4条第1項・第2項に規定

## 役割2

### 施設・病院などから地域へ移行

地域での生活を希望している長期入院者や長期入所者が、地域での生活を実現できるように、その支援体制確保に向けて普及啓発活動などを行ないます。

## 役割3

### 権利擁護、虐待防止の普及・啓発

親亡き後の支援として、成年後見制度推進などの権利擁護や虐待防止の普及活動などを、成年後見制度普及センターや市の虐待防止センターなどと連携を図りながら行ないます。

## 相談の流れ



相談者

対象者は、市内在住の障がい者(児)やその家族、支援者などです。相談費用は一切かかりません。



基幹相談  
センター

運営は、社会福祉法人とNPO法人に委託し、相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士などが中心となって対応します。地域の相談支援の拠点として、関係機関と連携し、総合的な相談業務を行ないます。



## 関係機関

市役所  
県障害者支援課  
相談支援事業所  
病院  
児童相談所  
包括支援センター  
虐待防止センター  
成年後見センター  
社会福祉協議会  
小・中学校 など



相談  
窓口

千曲・坂城障がい者(児)  
基幹相談支援センター

TEL 026-275-0548

FAX 026-214-3013

### ■運営時間

月曜から金曜日まで  
午前8時30分から午後5時15分まで(土日・祝日は休み)

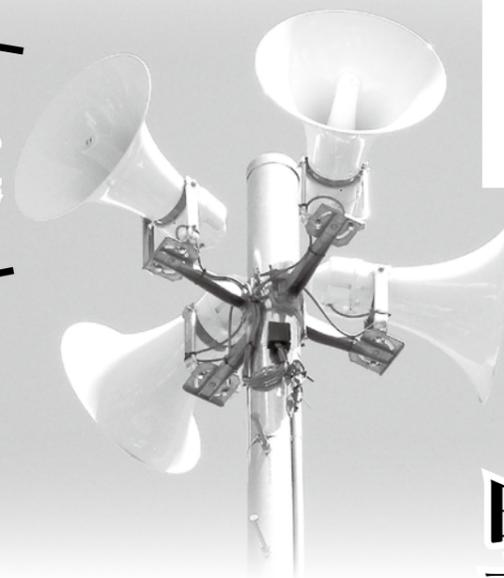
### ■場所

千曲市大字戸倉2388番地 戸倉庁舎2階

\*千曲、坂城地域において、市・町がそれぞれ業務を委託して事業を実施します。

## Jアラートのメッセージ

ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたもようです。建物の中、または地下に避難してください。



# 弾道ミサイルが 日本に向けて発射されたら

■問い合わせ先 更埴庁舎・危機管理防災課(内線5251)

9月15日午前6時57分頃に、北朝鮮の西岸付近から弾道ミサイルが発射されました。市内では発射の約4分後に、全国瞬時警報システム(Jアラート)の緊急情報が、屋外告知放送を通じて放送されたほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されました。

北朝鮮のミサイルが日本上空を通過したのは、8月29日に続き6回目で、ミサイル発射によるJアラートの緊急情報、県内では2回目の放送でした。聞き慣れない避難のメッセージに戸惑う人も多かったのではないのでしょうか。

弾道ミサイルは発射から10分もしないうちに到達する可能性があります。弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、市民の皆さんは、行政からの指示に従って落ち着いて直ちに次の行動をとってください。

### メッセージが流れたら

【屋外にいる場合】  
○近くの建物(できればコンクリート造りなど頑丈な建物)の中、または地下街、地下駅舎などの地下施設に避難する。

### 【屋内にいる場合】

○近くに避難できる建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。

### 【屋外にいる場合】

○口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

### 【屋内にいる場合】

○換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

### ミサイルが着弾した後は

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。

そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。また、行政からの指示があればそれに従って落ち着いて行動してください。

\*ミサイルの落下物と思われるものには決して近寄らず、直ちに警察、消防に連絡してください。

## 内閣官房国民保護ポータルサイト



ミサイルやテロによる攻撃があった場合に、身を守るためにとるべき行動をまとめたサイトです。



←二次元コードからアクセス

市民の千曲市に対する熱い思いを見にきませんか

## 千曲市協働事業提案制度 公開プレゼンテーション

■問い合わせ先 更埴庁舎・総合政策課  
(内線5312、FAX 026-273-8787)

市では、市民と行政による協働のまちづくりを進めるために、市民活動団体や区・自治会、企業などが提案する協働事業に対して、必要経費の一部を負担し、新しいまちづくりの活動を支援します。  
書類審査を通過した下表の4団体が、それぞれの企画・提案説明を發表します。  
■日時 10月12日(木)  
■会場 更埴文化会館小ホール

### 提案団体・発表内容など

提案事業名	提案団体名	提案内容
白鳥園 協働の公園づくり事業	協働の公園づくり実行委員会	白鳥園南側の未利用地の活用について、まちなかの活性化につながるような検討を行ない、交流人口の増加を図る。
歴史・ロマン再生事業(佐野薬師寺周辺整備)	千曲市川西地区振興連絡協議会	佐野薬師寺入口から薬師池までの石段の整備を行ない、住民憩いの場所とする。
千曲市 平和のつどい	千曲市男女共同参画推進連絡協議会	改めて戦争の愚かさを学ぶとともに、平和を守る心を醸成してもらう。
千曲市ふるさと物語の集い	千曲市ふるさと物語実行委員会	千曲市の自然・歴史・伝統・文化を学び次世代に伝えるために、小学生によるそれぞれの地域の「ふるさと」を題材にした発表会などを行なう。

\*傍聴希望者は、更埴庁舎総合政策課に電話かファックスなどで申し込んでください。

迅速・安定的に物資を供給するために

## 災害時に備え、物資供給に関する協定を締結

■問い合わせ先 更埴庁舎・危機管理防災課(内線5251)



▲協定書を持つ岡田市長と株式会社コメリ関東地区本部ゾーンマネージャーの坂上弘司さん(写真右)、一般社団法人日本福祉用具供給協会南関東支部長野原プロック長の藤井康高さん(写真左)

市は、大規模災害が発生した際に、必要な物資の供給を受けるため、NPO法人コメリ災害対策センターと一般社団法人日本福祉用具供給協会の間で、8月3日にそれぞれ協定を締結しました。  
協定では、災害時に市が協定先に協力を要請し、協定先は必要な物資を市へ優先的に運搬・供給することを定めています。  
NPO法人コメリ災害対策センターは、日常生活用品や応急対策用品などを、一般社団法人日本福祉用具供給協会は、要介護者・要支援者のための介護用品などの支援物資を避難所などへ供給します。費用は市がすべて負担します。  
更埴庁舎で行なわれた調印式で、岡田市長は「本日、協定を契機に災害発生時には行政と連携してご支援をいただきたい」とあいさつをされました。

行政に関する困りごとの相談

## 行政相談委員の紹介と 秋の行政相談週間

■問い合わせ先 更埴庁舎・総務課(内線5212)



▲定例相談で相談に応じる松本相談員

10月16日(月)から22日(日)までは「秋の行政相談週間」です。  
行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受け、皆さんの相談相手となり、行政に対する苦情などの相談を受け付け、助言や関係機関へのあっせんを行なっています。  
市では次の行政相談委員が委嘱されています。  
■行政相談委員  
○更埴地区  
安藤 秀一さん(屋代)  
松本 敦子さん(稲荷山)  
○戸倉上山田地区  
蟹澤 幸子さん(上山田)  
国などの仕事について、「苦情がある、困っている」「こうしてほしい」「苦情を申し出たが、説明や措置などに納得がいけない」などのことがありましたら、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は固く守られます。  
行政相談の日は、本紙32ページ「定例の相談」に掲載しています。

## インフルエンザワクチン予防接種の 接種費用を助成

中学生・高校生、65歳以上の市民が対象

■問い合わせ先 戸倉庁舎・健康推進課(内線6256)

中学生・高校生に相当する子どもや高齢者がいる世帯の経済的負担の軽減とインフルエンザの流行、重症化を防ぐため、接種費用の一部を助成します。対象者には、既に予防診票を郵送しています。

### 高齢者インフルエンザ予防接種

■対象者 市内に住居登録があり、接種当日において65歳以上の市民  
■接種期間 10月2日(月)から12月29日(金)まで  
■接種回数 1回  
■接種費用 1,000円(自己負担)

■接種方法 市内実施医療機関にて個別接種  
\*医療機関によって予約が必要  
\*予診票と接種料金を持参してください。

### 中学生・高校生インフルエンザ予防接種

■対象者 ○市内に住居登録がある中学生1年生から高校3年生の年齢に相当する人  
○高校に在籍している年度末年齢が20歳までの人(要申請)  
■接種期間 10月2日(月)から12月29日(金)まで  
■助成回数 1回  
■接種費用 医療機関の定める接種料金から、市助成額1,000円を差し引いた料金を窓口で支払ってください。

■接種方法 市内実施医療機関にて個別接種  
\*医療機関によって予約が必要  
\*予診票と母子健康手帳、接種料金を持参してください。

■接種費用 1,000円(自己負担)  
■接種方法 市内実施医療機関にて個別接種  
\*医療機関によって予約が必要  
\*予診票と接種料金を持参してください。

■接種方法 市内実施医療機関にて個別接種  
\*医療機関によって予約が必要  
\*予診票と母子健康手帳、接種料金を持参してください。